

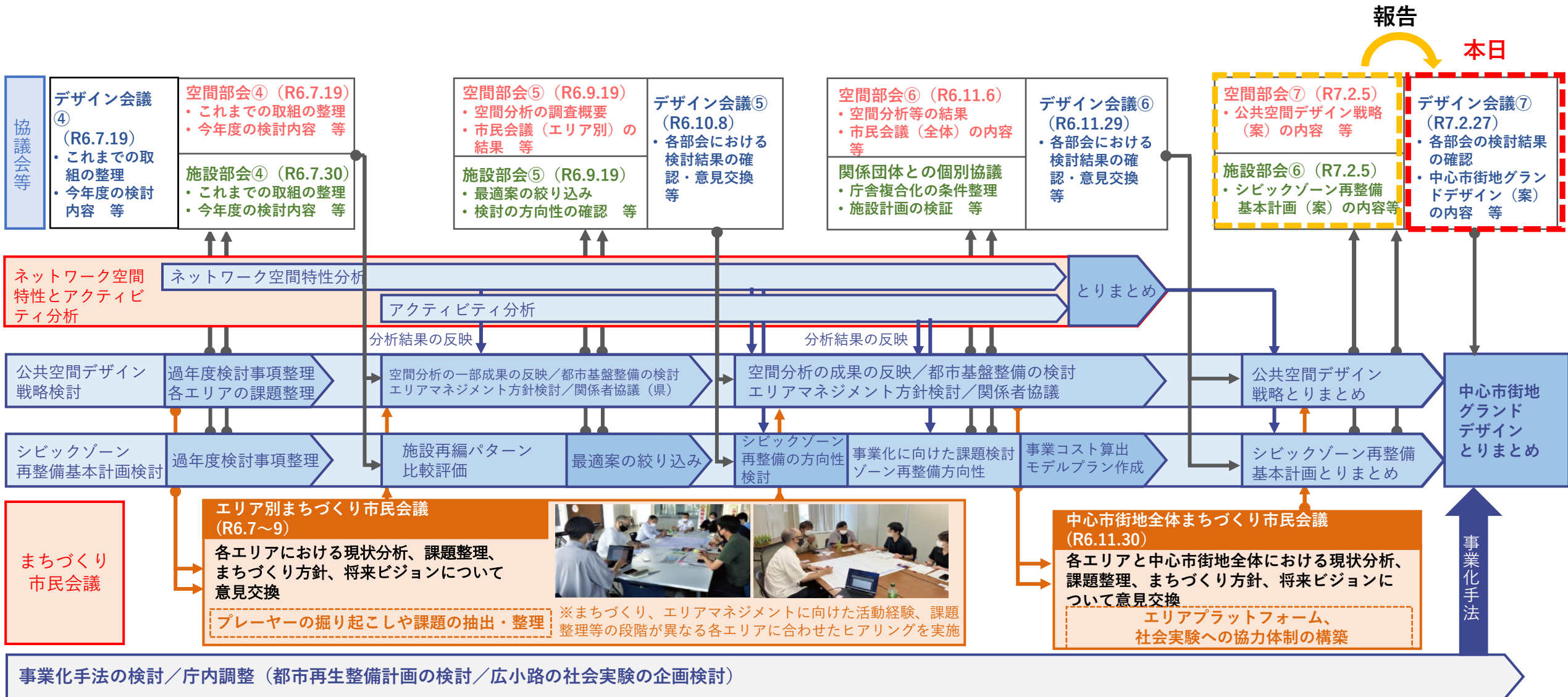
第7回 今治市中心市街地創生デザイン会議

令和7年2月27日（木） 13：30～

『今治市中心市街地グランドデザイン』の策定に向けて

1. 第6回デザイン会議の振り返りと本日の検討事項
2. 『中心市街地グランドデザイン（素案）』
3. 中心市街地まちづくり市民会議の開催結果
4. 今後のスケジュール

1. 第6回デザイン会議の振り返りと本日の検討事項

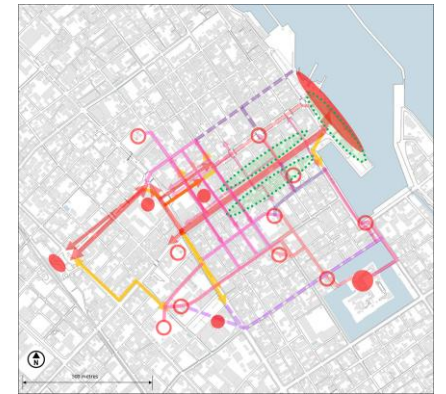


第6回デザイン会議の振り返り：第6回公共空間再編部会の検討内容

5

(1) ネットワーク空間特性とアクティビティ分析の結果

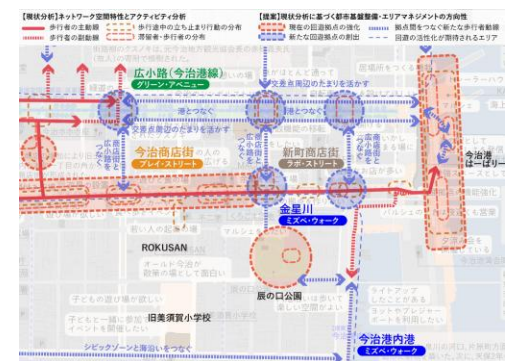
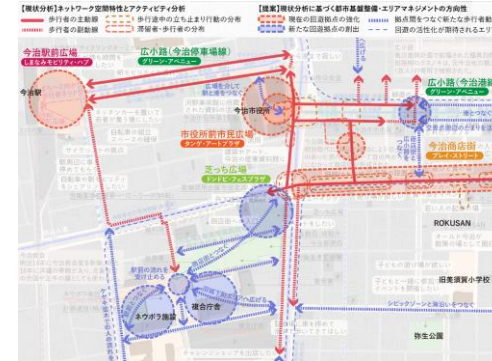
- ① 移動行動調査結果
- ② 滞留行動調査結果
- ③ 現況調査のまとめ



(2) 分析結果を踏まえた『公共空間デザイン戦略（素案）』

【全体方針】

現在の回遊動線や滞留行動の集中する場所（＝拠点）を活かし、広げていく回遊行動の展開や新たな拠点づくり

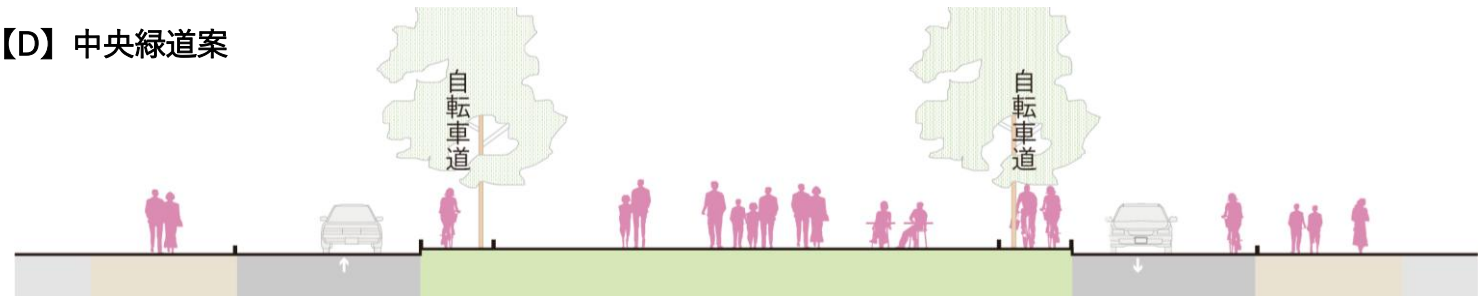


(3) 広小路整備に向けたパターン検討

4つの整備パターンを提示し、比較評価を実施

- 【A】両側歩道拡幅案
- 【B】南側歩道拡幅案
- 【C】北側歩道拡幅案
- 【D】中央緑道案

【D】中央緑道案



県を中心に個別協議を実施し、複合化に向けた条件整理等を検討（第6回施設部会を開催せず）

（1）最適案の絞り込み

候補地 B（県今治支局 及び 河野美術館敷地）を最適地として設定

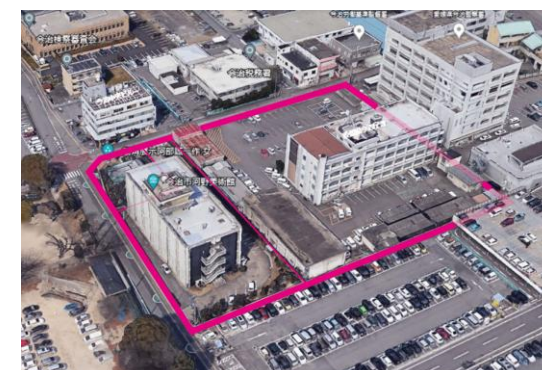
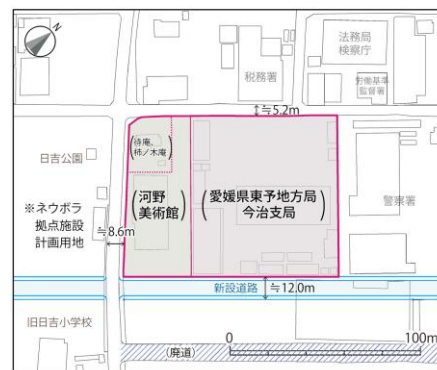
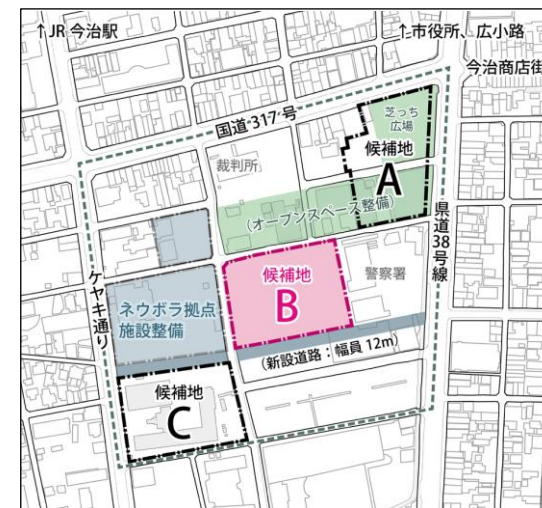
設定理由

- ① 中心市街地まちづくりにおける地域のデザイン戦略の考え方と整合
- ② シビックゾーンの中心に配置
- ③ ネウボラ拠点施設整備予定地と隣接
- ④ 市と県の共通課題の解決に寄与

（2）最適案の具現化に向けた検討の方向性

- ① 基本的な考え方
- ② 土地の整備要件
- ③ 建替えのスキーム
- ④ シビックゾーン内のオープンスペースの創出

※第5回施設部会の内容



項目	意見要旨
ネットワーク 空間特性と アクティビティ 分析の結果	- マルシェ開催時の賑わいは十分だが、通常時との落差が激しいと感じた。例えば、平日に小規模なマルシェを行えばギャップは埋まるのではないか。 - まだ案の段階であるが、商店街の不動産を活用できないかと考えている。例えば、商店街の空き店舗でマルシェ開催時にお試しで出店できるようにすることを考えている。 - 平日にまちを利用している多くは中高生や高齢者なので、その人たちに対して何をしていくかが大事である。金星川に若者が集まっている写真があったが、このような風景が日常に広がればよいと思った。 - 今治城はインバウンドも含めて多くの方が来ているのに、そこからどこにも寄らずに帰っている。今治城までの動線をつなぐことは重要である。 - 説明の中で「横道」（商店街や広小路に対して垂直に伸びる道）があったが、これは江戸時代の城下町の通りである。広小路は近代に整備された幹線道路であり、これらが交差してできたのが現在の今治のまちなみになる。デザイン戦略では、双方の良さを生かして検討を行うべきである。
広小路の 整備パターン	- 歩道を広げると、車で流入していた交流人口が減ってしまうのではないか。→道路空間を再編することによる車両交通への影響についても、社会実験を通じて検証する必要がある。 - D案（中央緑道案）が良いと思う。交通や沿道居住者にも影響は少ないと思われるし、景色が格好いいと思った。 - イベント時の賑わいを広げるためには、まずはそれができる環境がまちなかにあることが大事で、広小路は可能性が十分にあると感じた。 - そもそも広小路を整備して何を行いたいのか。歩くための空間であれば既に商店街があると思う。→今治はまちなかに人が少なく、目的となる場所やまちとしてシンボルになる場所があまりない状態である。今治港の航路が廃止され、広小路は交通量に対して道路幅員が十分すぎるのではないかと考えた時に、より価値化し、市民が誇れるようなシンボル性のあるものにしていくことはできないかと考えた。再編を検討する時に、そのような要素を追加するべきかについては引き続き議論していきたい。

第7回公共空間再編部会→『公共空間デザイン戦略（素案）』

第6回公共施設等再編部会→『シビックゾーン再整備基本計画（素案）』

をそれぞれ提示⇒（本日）部会における意見を報告

◎本日の検討事項

『公共空間デザイン戦略』及び『シビックゾーン再整備基本計画』を基にして作成した『**中心市街地グランドデザイン（素案）**』についてそれぞれの立場からご意見をいただきたい

●その他報告事項

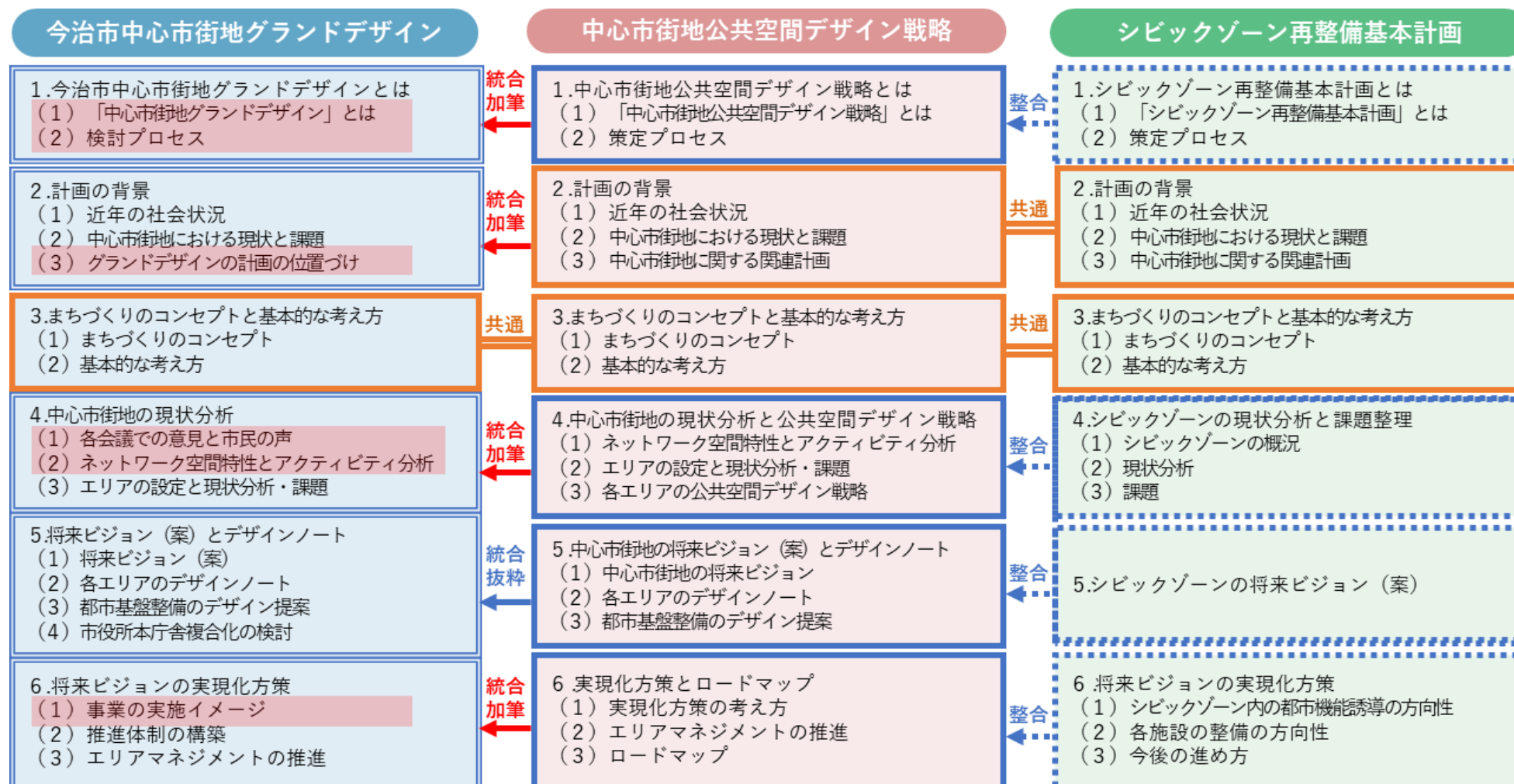
- ・中心市街地まちづくり市民会議の開催結果

項目	意見要旨
ネットワーク空間特性とアクティビティ分析の結果	・ 滞留状況として、「立っている」と「座っている」に分けられているが、「座っている」はエリアの特徴として打ち出すべきではないか。→「座っている」はイベント時で多くみられたが、本来はより環境がよいところで座ってもらいたい。写真で提示したような場所に滞留空間があると、まちの魅力につながるため、調査結果を基に引き続き議論を進めていきたい。 ・ マルシェと連動して商店街にキッチンカーを配置しようと考えているが、休日のマルシェが無いときの滞留を知りたいと思った。調査結果データの効果的な見方をぜひ相談させていただきたい。 ・ 調査結果は昼と夜の時間帯による違いはあるのか。→夜間は調査していないが、昼間については時間帯ごとの変化を確認することはできる。 ・ 滞留する人の行動は、暑さをしのぐ、風をよける、雨をしのぐといったことが要因になるのではないか。例えば、日陰やトイレ等への案内で誘導することはできるのか。→ウォーカビリティ（歩きやすさ）とは、日陰や沿道建物の変化など、快適性も含まれて評価されるため大切なポイントだと思う。 ・ ネットワーク空間特性・アクティビティ分析の結果が、公共空間デザイン戦略の方にどう反映されているのか、つながりの部分が見えにくい。→1対1対応になっていないが、分析結果の見方については別冊として説明を入れていきたい。 ・ 【事務局】人の流れを可視化して、意識した計画ができればと思う。例えばシビックゾーンでは、建物の外構部分を工夫して自由道路にすることで、松本町や今治城へ人が流れるような動きも出てくるのではないかなと思う。→建物内にオープンスペースや居心地がよい空間があってもよいと思った。
広小路	・ 市役所から港までは1本の緑地になるのか。本町商店街は2車線道路で縦の幹線道路だと思うが、そこも閉め切って社会実験をして検討していくのか。→社会実験だけでなく、交通量調査をして南北の動きがどれだけあるかも併せてシミュレーションが必要であり、どのような利用形態になるかは今後検討となる。 ・ 広小路はデザインと利便性の両立は難しいと感じている。まちづくりを考える上ではデザインに寄せた方がよいのか。→デザインの定義として、良いデザインとは、使いやすく、かつ地域の人誇りに思えるかどうかが大事になる。ものの形だけではなく、運用するマネジメントや維持管理、ルールづくり、安全性なども考えていかなければならない。それがすべて解けているのが広い意味でいいデザインだと思う。

項目	意見要旨
広小路	実験案①では自転車道が自動車道より中央側になっているが、歩道側にした方がよいと思った。→自転車道を中央に書いているのは、パーソナルモビリティもここを通ればよいというイメージを持っており、左折車との交錯がなくなるため安全性が高くなっている。→モビリティをイメージして書く」と一歩進んで見えるので、そんな形で未来の提案をしていただきたい。→表現は検討する。
デザイン戦略	- アクティビティ分析から南北に一つの固まりがあることに着目し、エリア設定を行っていることは、今治のまちの特性をきちんと捉えられていると思った。さらにそこから一歩進んで、今治城との連動性も考えられているので、十分住民の方にも説明できる内容である。 - 広小路を第1段階とすれば、第2段階は今治駅天保山線の街路樹の延伸にするとわかりやすい提案になると思った。緑陰をつくってまちづくりをしていくのは、新たな展開でよいと思う。戦災復興都市計画は船の時代の復興で、現在の提案はこれからの公共交通や市民生活について考えられているため、大きな分岐点を示していると思う。 - 個人的な意見であるが、コンセプトのテーマである「港」について、全体的に見て港と海では海の方が強いイメージがあるので、「海」の方がしっくりくると思った。（その後、コンセプトについて複数の意見が挙げられた）→意見を踏まえて再考する。 - 自転車ネットワーク計画の改定を進めているところで、次のステージとしてまちなかを整備していきたい。今回の計画にも自転車走行のエリアがあるため、イラストにも回遊ルートを強調できないか。→イラストの表現については相談する。

- グランドデザインは、まちづくり構想が示す考え方や将来ビジョンを実現するための施策と手法を具体的に整理するとともに、中心市街地のまちづくりの方針を市民等に広く周知・啓発を図るための中期的な計画

■ グランドデザインと2つの計画の関連



2. 『中心市街地グランドデザイン（素案）』

※別添資料参照

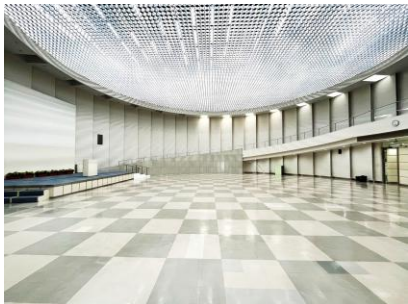
3. 中心市街地まちづくり市民会議の開催結果

① 基本的な考え方

- 中心市街地の現状、課題、まちづくり方針、将来ビジョンについて市民等の**多様な参加者と意見交換**を行い、「今治市中心市街地グランドデザイン」へ反映させることで、**市民が一体となる「中心市街地まちづくり」への機運醸成**を図る

② 開催概要及びプログラム

- 日時：11/30（土）
13：00～16：30
- 会場：今治地域地場産業振興センター（大ホール）



■ 全体まちづくり市民会議プログラムの概要



全体まちづくり市民会議の様子

15



パネル展示（学生の取組）



パネル展示（まちづくり（案））



各団体による発表
今治東中等教育学校



各団体による発表
FC今治高等学校里山校



各団体による発表
愛媛大学



各団体による発表
大木氏（合同会社GTO代表）



各団体による発表
豊島氏（今治ホホホ座 主宰）



羽鳥先生による総評



まちづくり（案）の説明



基調講演（三浦先生）



パネルディスカッション



参加者による集合写真

アンケートの結果概要

実施日時

令和6年11月30日(土)
13:00~16:30

実施方法

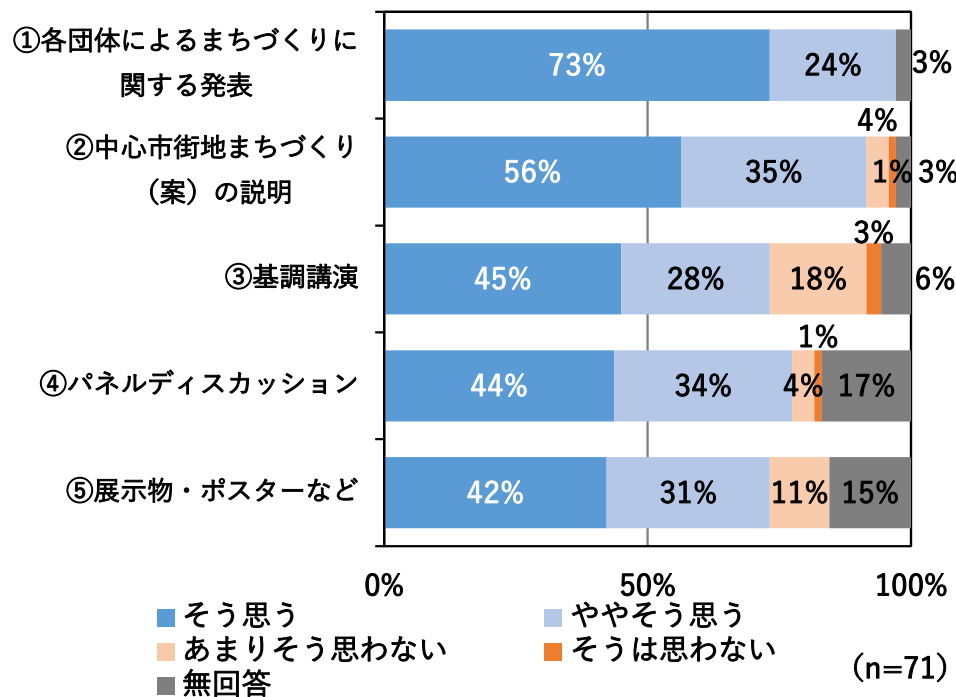
①アンケート調査票への回答
②2次元バーコードによる回答

回収率

56.3%
(来場者数126名のうち71件回収)

16

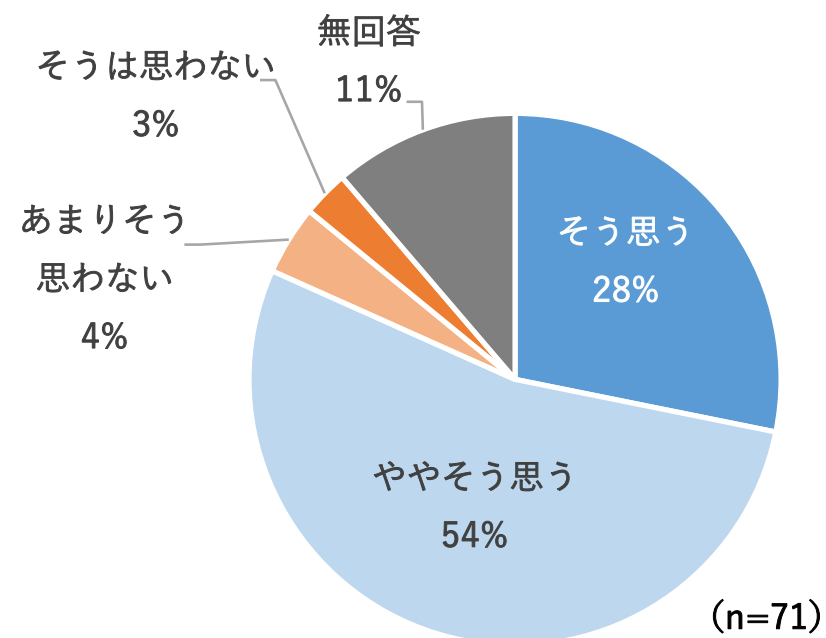
Q. 開催内容は満足できるものでしたか



主な理由・感想

- ・全体的に私の考えに今までなかったもので新しい体験になったから
- ・未来に向けた構想を伺えたことが良かった
- ・学生たちの地域の取組に感心した
- ・まちづくりの可能性を高めていくための会議に参加できてよかった

Q. 中心市街地まちづくり(案)で説明された将来像の内容は満足・期待できるものでしたか



主な理由・感想

- ・案が実現したら今治市にもっと笑顔が増えそうだった
- ・一時的に活性化する案ではなく、継続的だったから
- ・エリアごとのコンセプトが明確になった
- ・10年後にはまちで周遊ができそうな気がした
- ・港から駅をつなぐエリアの活性化が重要だと思う

アンケートの結果概要

実施日時

令和6年11月30日(土)
13:00~16:30

実施方法

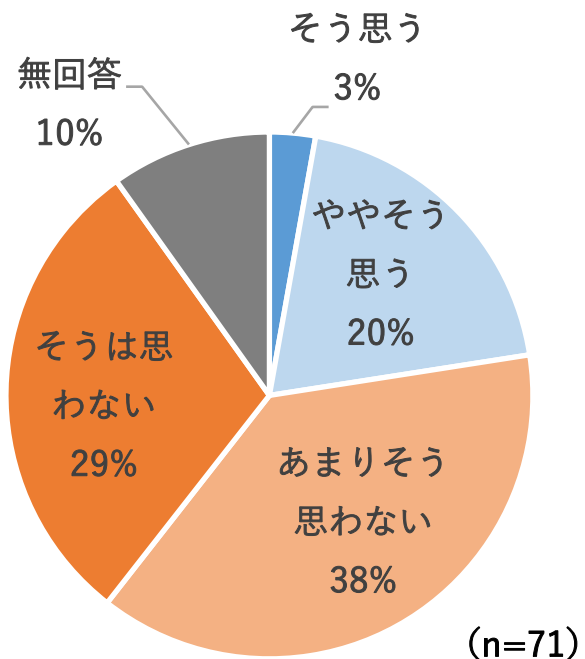
①アンケート調査票への回答
②2次元バーコードによる回答

回収率

56.3%
(来場者数126名のうち71件回収)

17

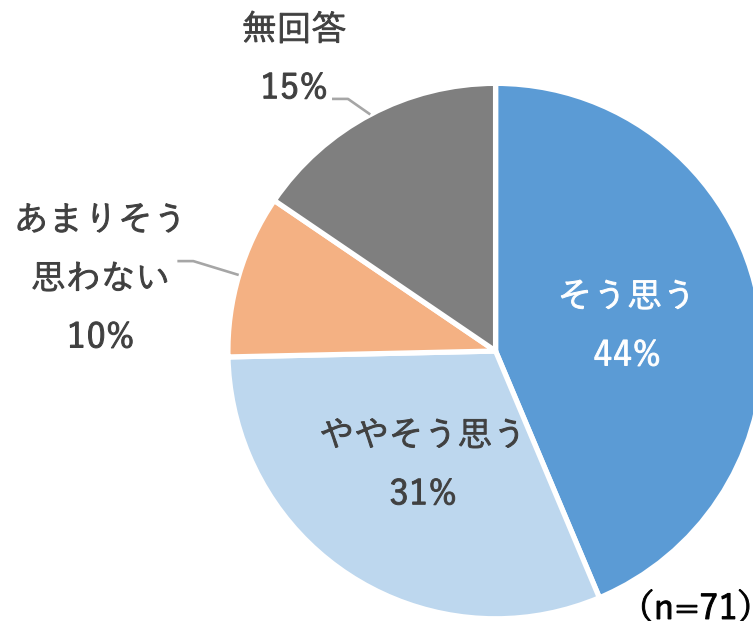
Q. 現在の中心市街地に満足していますか



主な理由・感想

- ・便利ではあるが、廃れた感じが否めない
- ・シンボルとなるものがない
- ・みなとマルシェの時などは賑わうが、普段から人が来るようにしてほしい
- ・人と人とのつながりがあったりしていいが、まちに活気がない

Q. 中心市街地まちづくり(案)が実現した場合、中心市街地を訪れる回数は増えると思いますか



主な理由・感想

- ・心地よい滞在空間ができるから
- ・「用があるから」ではなく「行きたい」から行く中心市街地になればよい
- ・歩くことで生まれる共有空間を大切にしたいと思うから
- ・ここにしか無いものがあれば増えると思う

アンケートの結果概要

実施日時

令和6年11月30日(土)
13:00~16:30

実施方法

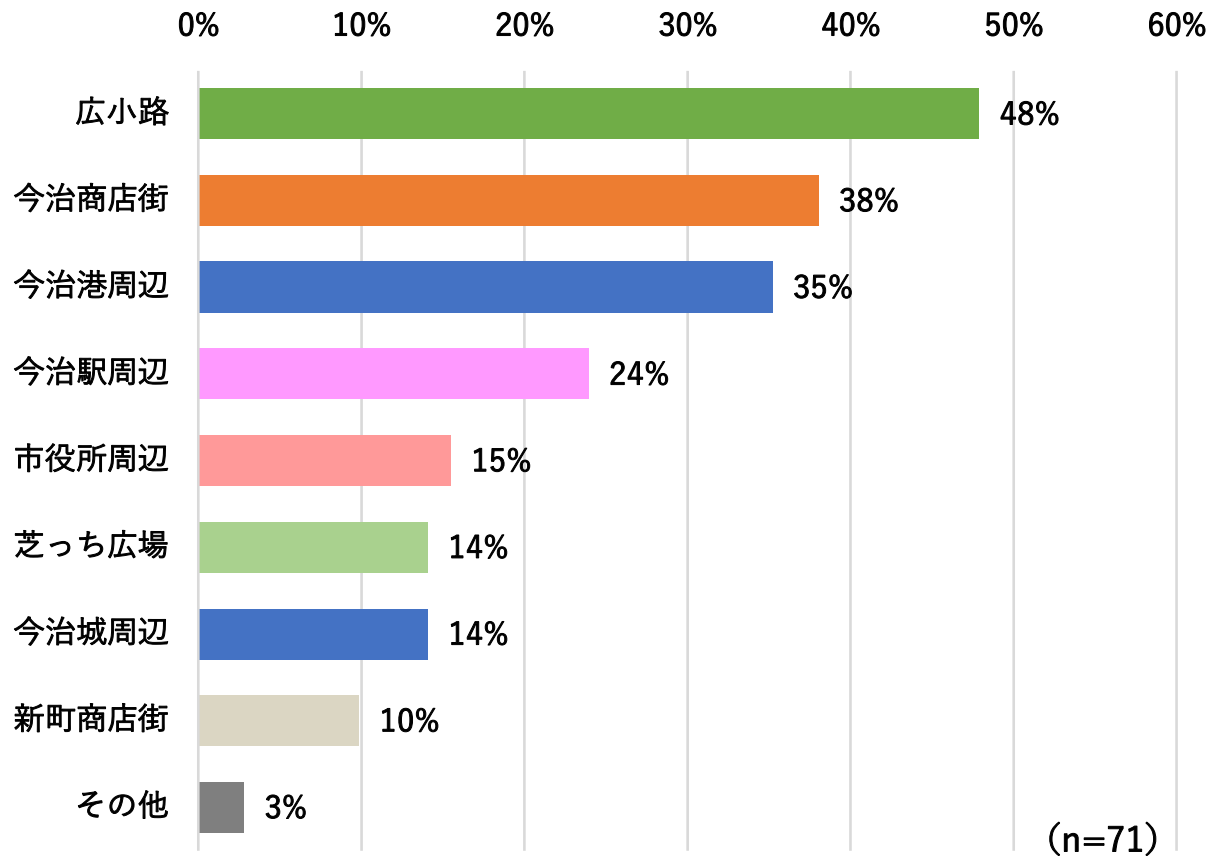
①アンケート調査票への回答
②2次元バーコードによる回答

回収率

56.3%
(来場者数126名のうち71件回収)

18

Q. 特に良いと思ったエリアや印象深かったエリアはありますか



主な理由・感想

※【 】内は回答者が選んだエリア

- ・子どもの集まる場ができれば親もついて来て、新たなコミュニティが生まれると思う【今治商店街・新町商店街】
- ・活用しきれていないと特に感じた部分だったから【芝っち広場、今治商店街、今治駅周辺】
- ・今治駅のタクシーの部分は確かにいいスペースになると思った【今治駅周辺】
- ・魅力あるスポットを点在させることで、点を線でつなぎ、飽きることのないまちづくりができるのかなと思った【芝っち広場、今治駅周辺】
- ・アーケードがあると雨の日も活動できるので大切にしてほしい【今治商店街】
- ・今治港から今治城へのルート整備に期待【今治港周辺】
- ・イベントの会場にできる可能性を感じられた【市役所周辺】
- ・港と駅の広小路を中心市街地の幹とする空間が、今治のまちの象徴的なまちづくりになると思う【広小路】

アンケートの結果概要

実施日時	実施方法	回収率
令和6年11月30日(土) 13:00~16:30	①アンケート調査票への回答 ②2次元バーコードによる回答	56.3% (来場者数126名のうち71件回収)

Q. 中心市街地活性化に向けてあなたが必要だと思うことや今後の中心市街地まちづくりに期待すること、その他ご意見等

- 主な意見等
- ※()内は回答者の年代
- ・商店街の再生が、中心市街地活性化に向けての大きな力になると思う。
中高生が立ち寄って話したり勉強したりできる空間になってほしい(10代)
 - ・やろうと思う市民が一人でも多くなればと思う(30代)
 - ・そもそも未来の今治市がどうあるべきか、どんな都市として魅力を持たせていくのか、その物語がつくったうえで、現在取り組みをしている人をもっとヒアリングし、計画を策定していってもらいたいと思いますし、私も参加したいと思う (40代)
 - ・起点となるプロジェクトを早く動かして、街が変わっていくという機運を作ることがまずは重要だと思う(40代)
 - ・まちづくりは今日・明日でできる事ではないと思うので、やはり子供達を巻き込んで未来に向けて一歩ずつ進めていくべきことだと感じました (50代)
 - ・一人ひとりの期待が異なるので、様々な事にチャレンジして欲しい(60代)

■ アンケート調査票

※ご記入後、受付スタッフにお渡しください。

今治市中心市街地まちづくり市民会議 アンケート調査票

本日は、まちづくり市民会議にお越しいただきありがとうございます。今後の中心市街地まちづくりの参考とさせていただきますので、皆様のご意見をぜひお聞かせください。

こちらからも回答できます▶

※それぞれあてはまるものに○

① 年代	10代未満 ・ 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代以上
② お住まい	今治市内(中心市街地内) ・ 今治市内(中心市街地を除く陸地部) ・ 今治市内(島しょ部) ・ 今治市外(具体的に:)
③ 同伴者	1人 ・ 家族 ・ 友人・知人 ・ その他()
④ 来場のきっかけ ※複数回答可	チラシ ・ ポスター ・ 家族・知人からの案内 ・ 市広報 ・ ウェブ(今治市HP・その他) ・ SNS (Facebook・Instagram・その他) ・ 通りすがり ・ その他()
⑤ 中心市街地の 来訪頻度	毎日 ・ 週数回程度 ・ 月数回程度 ・ 年数回程度 ・ 初めて ・ その他()

※それぞれあてはまるものに○

4: そう思う 3: ややそう思う 2: あまりそう思わない 1: そうは思わない

本日の開催内容は満足できるものでしたか?

① 各団体によるまちづくりに関する発表	4
② 中心市街地まちづくり(案)の説明	4
③ 基調講演	4
④ パネルディスカッション	4
⑤ 展示物・ポスターなど	4

【上記の理由・感想】

※それぞれあてはまるものに○

4: そう思う 3: ややそう思う 2: あまりそう思わない 1: そうは思わない

① 現在の中心市街地について、満足していますか? 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1

【上記の理由・感想】

② 中心市街地まちづくり(案)で説明された将来像の内容は満足・期待できるものでしたか? 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1

【上記の理由・感想】

③ 中心市街地まちづくり(案)が実現した場合、中心市街地を訪れる回数が増えると思いますか? 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1

【上記の理由・感想】

④ 中心市街地まちづくり(案)の中で、特に良いと思った又は印象深かったエリアはありますか? ※複数回答可
今治港周辺 ・ 広小路 ・ 今治商店街 ・ 新町商店街 ・ 芝っ広場 ・ 今治駅周辺 ・ 市役所周辺 ・ 今治城周辺 ・ その他(具体的に:)

【上記の理由・感想】

※複数回答可

⑤ 中心市街地活性化に向けてあなたが必要だと思うことや今後の中心市街地まちづくりに期待すること、その他ご感想や意見等があれば自由に記入してください。

【ご意見・感想】

アンケートのご協力ありがとうございました。ご記入後、受付スタッフにお渡しください。

注)「主な理由・感想」や「主な意見等」は一部抜粋であり、元となる文章の内容や意味を損なわない程度に変更しているものがあります

4. 今後のスケジュール

- 本日いただいたご意見等を踏まえて『中心市街地グランドデザイン（案）』を更新
- 4月にパブリックコメントを実施し、5月に市長に対して「答申」を行う予定

